

別紙

「信州エコポスターコンクール2023」諏訪地域各賞受賞作品一覧

【ポスター】

小学生・低学年の部

入選 岡谷市立小井川小学校3年

笠原 理都 (カサハラ リツ) さん

入選 諏訪市立城南小学校3年

佐藤 碧 (サトウ アオ) さん

笠原 理都(かさらは りつ)さん
岡谷市立小井川小学校 3年



佐藤 碧(さとう あお)さん
諏訪市立城南小学校 3年



中学生の部

協賛社賞 原村立原中学校2年

中野 連太郎 (ナカノ レンタロウ) さん

協賛社賞

中野 連太郎(なかの れんたろう)さん
原村立原中学校 2年



【作品に込めた思い】

ゴミをへらしたかった。

小学生・低学年の部 最優秀賞

竹花 路人(たけはな ろと)さん

上田市立東塩田小学校 3年



【作品に込めた思い】

海にいる生き物たちを大切にしてほしい、という思いを込めました。

生き物たちが目立つように絵を工夫しました。

【講評】ヤポンスキーこばやし画伯 審査委員

部門全体として、小学校低学年とは思えないくらい表現方法が豊かな子どもたちが多かったのが印象的だった中で、大人から見ると子どものこういった素朴な字というのはドキッとさせられます。ダイナミックなマグロや海の生き物たちを子どもならではの視点でいきいきと描いてくれており、審査委員みな一致して最優秀賞に決定しました。とても素晴らしい作品でした。

小学生・高学年の部 最優秀賞

勝野 結愛(かつの ゆりあ)さん

大町市立大町南小学校 6年



【作品に込めた思い】

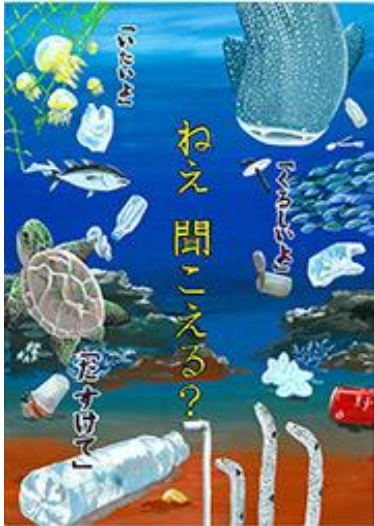
北極の氷が地球温暖化でとけていると聞きました。かき氷を見たら地球温暖化のことを考えてもらえるといいと思います。

【講評】ヤポンスキーこばやし画伯 審査委員

北極の流氷に取り残されたシロクマがモチーフ。見せ方としてはポップでシロクマがかき氷の上で困っていて「とけました」と事後報告をしてくださっている。「氷」と「かき氷」をかけていて、気の利いたおしゃれな表現ではあるんですけどもよく考えてみるととても恐ろしい絵です。皆さんの目に留まって温暖化に意識を傾けてもらえる1枚だということで最優秀賞に選びました。

小松 雪菜(こまつ ゆきな)さん

上松町立上松中学校 3年



【作品に込めた思い】

チンアナゴがストーリーに見えたのは夏休みに行った水族館が理由の1つ。そこからはクラゲがビニールぶくろ、ヤドカリのかが紙コップへ。海害種(ゴミ)と在来種(生き物)が同じ海に存在し、在来種が海害種に傷つかれて助けの声を求めているのを想像しながら書いた。「—ねえ、聞こえる？」

【講評】小松美羽 審査委員

チンアナゴを見たときにストーリーに見えたということで、そこから発想を転換させていくその想像力が素晴らしい。海の生物とゴミがともに暮らしていく中で、「たすけて」「いたいよ」と人間だけでなく魚に対してのいたわる心・愛情も素晴らしいなと思いました。グラデーションの塗り方がきれいで筆の使い方も丁寧。土と海が交わる部分の微妙な色のラインがすごくきれいに出ているので、中学生がこういったグラデーションの使い方ができるのは将来が楽しみです。創作活動を続けていかれるかはわかりませんが非常に楽しい感性の持ち主だと思いました。